

令和5年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名

西東京市立碧山小学校

校長名

稲富 泰輝

教育理念及び教育目標

人権尊重の精神及び子どもの権利を大切にすることを基盤とし、変化するこれからの社会に柔軟に対応し、人と社会と自然環境等と協調しながら、生涯を通じて豊かに生きていくための資質・能力を育成するため、次の教育目標を設定する。

- ◎ 自分でよく考え工夫する子 (問題解決力) **重点目標**
- ねばり強く前向きに取り組む子 (実践力)
- 人の立場に立って行動する子 (人間関係形成力)

学校の特徴

本校の特徴は以下である。

- 1 地域の中の学校として、コミュニティ・スクールを推進する学校
 - ・「地域は教材、地域は教室、地域は先生」西東京ふるさと探求学習と関連した学習
- 2 歴史と伝統を基盤に、オープンスペースや広いホールのある学校
 - ・開校60周年事業に向け、歴史を振り返り、未来を展望する取組の推進
- 3 広い芝生、おいしい給食、学級・学年経営を基盤とした学校生活
 - ・「憩いの空間、憩いの時間、憩いの仲間」を通じた居場所づくりの推進
- 4 人間性を育む異学年、異年齢ごとのかかわりの可能性
 - ・たてわり活動、幼保小中間交流、障害者理解教育などの充実
- 5 タブレット端末の活用、読書活動の充実
 - ・ICT教育の充実、読書旬間の活用を通じた「個別最適な学び・協働的な学び」の推進

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

目指す学校像

子どもが生き生きと前向きに活躍し、保護者・地域から信頼される学校
～一人一人のよさが生き、共に学び高め合っていく教育活動をとおして～
(個性の尊重) (共生の重視)

目指す児童像

- ◎ 課題解決のため、主体的に考え創意・工夫する子
"やればできる・分かる・楽しい" "みんなで学ぶともっとできる・分かる・楽しい"
- 物事を前向きにとらえ、積極的かつ粘り強く取り組む子
" (面白そう、不思議だ) 最後までやってみたい" "みんなともっとやりたい"
- 人とのかかわりを大切にし、力を合わせて活動する子
"自分のよさに気付く・発揮する" "他人(友達)のよさに気付き取り入れる"

目指す教師像 (西東京あったか先生の実現)

- 探究的・問題解決的な学習を実践し、子どもの自己解決力・学ぶ意欲の向上を図ることのできる教師
- 不断の向上心をもち、前向きに工夫・改善を目指す教師
- 一人一人の子どもを大切にし、子どものわずかな変化を見落とさない教師
- 学校組織の一員として協力・協働して取り組む教師
- 子どもを中心に考えるとともに、保護者・地域から信頼される教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

(1) 主体的・対話的で深い学びの推進

○校内研修の充実を図るとともに、全教員が積極的かつ主体的に研究授業等を行い、互いに切磋琢磨して授業力の向上を図る。

(2) めあてと振り返りのある教育活動の充実

○子どもの疑問や驚きを大切にし、めあてや予想、振り返りのある授業づくりをする。

(3) 温かい人間関係づくりの構築

○だれもが大切にされ、集団の中で心の居場所が形成されるよう、認めること・褒めることを基盤に、あらゆる教育活動を通じて指導の充実を図る。

(4) 保護者・地域から信頼される学級・学年・学校づくり

○開校 60 周年事業を通じて、学校や地域の歴史を振り返り、未来の展望をもつ。

○コミュニティ・スクールとして、地域に開かれた学校を推進する。

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

(1) 授業改善の推進

○魅力的な教材の開発、問題解決的な学習の推進を図り、日常の授業の充実を進める。

○GIGA スクール構想の推進に向け、タブレット端末やデジタル教材の日常的活用を図る。

(2) やる気・根気・活気のある教育活動の推進

○「週ごとの指導計画」に本時のねらいを確実に位置付ける。

(3) 自他のよさに着目した「心の教育」の充実

○自分を大切にするとともに、相手を大切にすることで子どもの自己肯定感を高める。

(4) 地域の教材の活用

○開校 60 周年式典開催、集会実施、記念誌発行、郷土資料室開室等を計画的に進める。

○コミュニティ・スクールの円滑な立ち上げ、地域学校協働活動の模索・推進を図る。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

(1) 「問題解決力」の育成

○児童にとって切実な教材の開発、問題解決的な学習の充実、振り返り活動の設定を通じて、児童が問いを見だし、主体的に問いを追究する学習活動（自学自習）を推進する。

○カリキュラム・マネジメントの視点に立って、地域の教材・人材・環境を学習計画に位置付け、探究的に追究する学習活動の充実を図る。

○基礎的・基本的な事項の確実な定着とその活用を通じて、児童一人一人のコミュニケーション能力を高め、考える力・表す力を育成する。

○習熟度別指導・ICT 教育・読書活動の充実を通じて、個に応じた指導の充実を図る。

(2) 「実践力」の育成

○SNS を含む生活習慣の確立、安全指導や給食指導の充実を通じて健康教育を推進する。

○課題のある運動の継続的取組、めあてに基づく指導の充実を通じて、体力の向上を図る。

○自分のよさに気付いたり、将来の生き方を考えたりするキャリア教育の充実を図る。

(3) 「人間関係形成力」の育成

○道徳教育や安全教育を推進するとともに、命を大切にした教育の充実を図る。

○自己肯定感を高めるとともに、いじめの早期発見・解決に努め、人権教育を推進させる。

○異学年交流・幼保小中間連携・障害者との交流活動などを進めるとともに、他人との違いを大切にし、子どもに寄り添った特別支援教育や教育相談の啓発を図る。

(4) 保護者・地域から信頼させる学級・学年・学校づくりに向けて

○全教職員が「西東京あったか先生」を遵守し、子どもから慕われる関係を維持する。

（子どもの話を丁寧に聞く、よい行動をしっかりと褒める、やる気をもたせる）

○保護者・地域の声を確実に受け止め、丁寧に情報発信をし、協力体制を構築する。

○教職員の専門性、チームワークを発揮して「チーム碧山 プロを目指す集団」として組織的に教育活動を推進させるとともに、働き方改革を着実に前進させる。